

DBJ・JTBFアジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 (2020年度 新型コロナウイルス影響度特別調査)

ー 関西への訪問意欲は引き続き高いが、本格回復は安全宣言・抗ウイルス薬開発後に ー

- ・ (株)日本政策投資銀行は2012年度より継続的に「アジア8地域・訪日外国人旅行者の意向調査」を公表し、2015年度からは(公財)日本交通公社と共同でアジア・欧米豪の12地域の海外旅行経験者を対象にインターネットによるアンケート調査を実施している(2012～2015年度はアジア8地域のみ、2016年度以降はアジア・欧米豪12地域全体)。今回は、**新型コロナウイルス感染症(以下「新型コロナ」という。)の流行が外国人旅行者の海外旅行意向に与えた影響を調査すべく、アジア・欧米豪12地域の海外旅行経験者6,266人を対象とした緊急アンケート調査を実施した。**
- ・ 本レポートでは主に、同調査において、「あなたが新型コロナ終息後に観光目的で訪日するとして、次に訪問したい地域」の中から「関西」を選択した回答者(複数回答。以下「関西訪問希望者」という。)の回答について集計を行った。全国結果については『DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査(2020年度新型コロナウイルス影響度特別調査)』(2020年8月)をご参照いただきたい。

<調査結果(全体)>

1. **回答者の8割超が新型コロナの終息後に海外旅行をしたいと回答しており、また、旅行先として日本、そして関西の人气が引き続き高いことも確認された。** 関西訪問希望者における海外旅行をしたい理由については、「海外で体験したいことがあるから」、「海外旅行が好きだから」、「リラックスや癒しを得たいから」が上位を占める一方、「外出自粛により溜まったストレスを発散したい」、「新型コロナに打ち勝った自分へのごほうび」といった回答も一定割合あり、終息後の需要の**反動増の可能性も認められた。**
2. 関西訪問希望者における海外旅行再開のタイミングについては、「渡航希望先の安全宣言後」、「抗ウイルス薬の開発など、新型コロナウイルスの脅威が消滅してから」、「WHOのパンデミック終息宣言後」が上位を占め、**インバウンド旅行需要の本格的な回復には国・公的機関の安全宣言や抗ウイルス薬の開発が必要**であることが確認された。
3. 関西への旅行に期待することについては、「衛生面における配慮、清潔さ、消毒などのウイルス対策全般の継続」が「リーズナブルな日本食レストランの充実」や「文化体験アクティビティの種類や質の充実、ブラッシュアップ」を抑えて最多となるなど、旅行者の**衛生面への関心が高まっている**ことが確認された。
4. 新型コロナ終息後の旅行形態については、**予算の増加や滞在日数の長期化**の傾向が確認されるとともに、過去のアンケート結果と比して、航空券と宿泊施設のみがセットになったパック旅行などの**他人との接触を抑えた旅行形態を希望する割合が増加**する結果となった。コロナ禍を経て海外旅行に特別感が生まれ、また、衛生面への関心が高まっていることが確認された。
5. 以上から、日本そして関西への訪問意欲は引き続き高いものの、本格的な回復は政府・公的機関による安全宣言や抗ウイルス薬の開発後となる公算が大きい。また、新型コロナ終息後の旅行形態としては、これまでよりも費用や時間をかける一方で、衛生面への関心が高まる傾向が確認された。**来たるべき新型コロナの終息とインバウンド観光需要の回復に向けては、宿泊施設や交通インフラ等、幅広く衛生面への対応を進めるとともに、今の段階から、関西が強みを有する観光資源である食や文化体験の充実に磨きをかけ、それらを旅マエ情報として発信することも重要**であろう。

目次

ページ	内容
1	調査要領
2	回答者の属性
3	新型コロナ流行終息後、海外観光旅行をしたい理由
4	海外観光旅行の検討を再開するタイミング
5	新型コロナ流行終息後、関西に訪日観光旅行する場合に期待したいこと
6	新型コロナ流行終息後、海外観光旅行の予算・滞在日数の変化、希望する旅行形態
7-8	訪日観光旅行の際に、新型コロナウイルス対策が必要だと感じる乗り物・場所、またその具体策

調査要領

調査方法	インターネットによる調査
調査時期	2020年6月2日～2020年6月12日
調査地域	韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、アメリカ、オーストラリア、イギリス、フランスの12地域 (注) 中国は北京および上海在住者のみ (割合は北京50%：上海50%) ※アジア：韓国、中国、台湾、香港、東南アジア ※東南アジア：タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア ※欧米豪：アメリカ、オーストラリア、イギリス、フランス
調査対象者	20歳～59歳の男女、かつ、海外旅行経験者 海外旅行時期不問 (注) 中国-香港-マカオ間、マレーシア-シンガポール間、タイ-マレーシア間、アメリカ-カナダ・ハワイ・グアム間、イギリス・フランス-欧州各国間、オーストラリア-ニュージーランド間の旅行については海外旅行経験から除く
協力実査会社	楽天インサイト株式会社
関西訪問希望者	「あなたが新型コロナ終息後に観光目的で訪日するとして、訪問したい地域」の中から「関西」を選択した回答者

回答者の属性

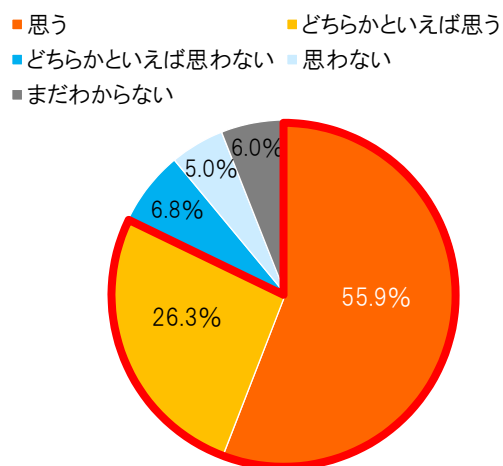
- アンケート回答者のうち、新型コロナ終息後にまた海外旅行をしたいかという問いについて、「思う」、「どちらかといえば思う」と回答した割合は82.2%であり、コロナ禍を踏まえても引き続き海外旅行への高い関心が確認された(図表1-2)。また、回答者※1のうち、新型コロナ終息後に観光旅行したい国・地域として「日本」と回答した割合は45.6%となり、海外旅行先としての人気も引き続き非常に高いことが確認された(図表1-3)。
- 訪日希望者のうち、関西への訪問希望は東京・北海道に次いで高く(36.6%)、新型コロナ終息後、インバウンド需要の回復可能性があることが確認された(図表1-4)。

※1新型コロナ終息後の海外観光旅行について「(したいと)思わない」を選択した対象者および次に海外観光旅行の検討を再開するタイミングについて「現在の状況からは海外旅行の検討再開は考えられない」と回答した対象者を除く全員

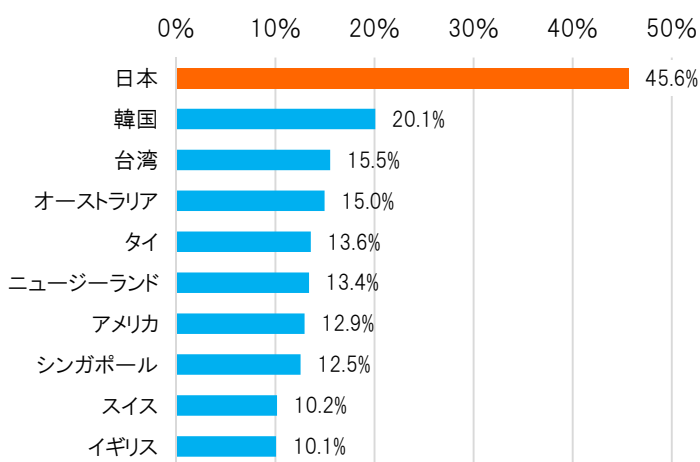
(図表1-1)有効回答数

	回答者全体	うちアジア全体					うち欧米豪全体	
		中国	台湾	香港	韓国	東南アジア		
総数	6,266	4,194	548	530	511	529	2,076	2,072
訪日経験無し	3,260	1,611	129	91	83	147	1,161	1,649
訪日経験有り	3,006	2,583	419	439	428	382	915	423
1回	1,079	866	172	93	50	132	419	213
2回以上	1,927	1,717	247	346	378	250	496	210

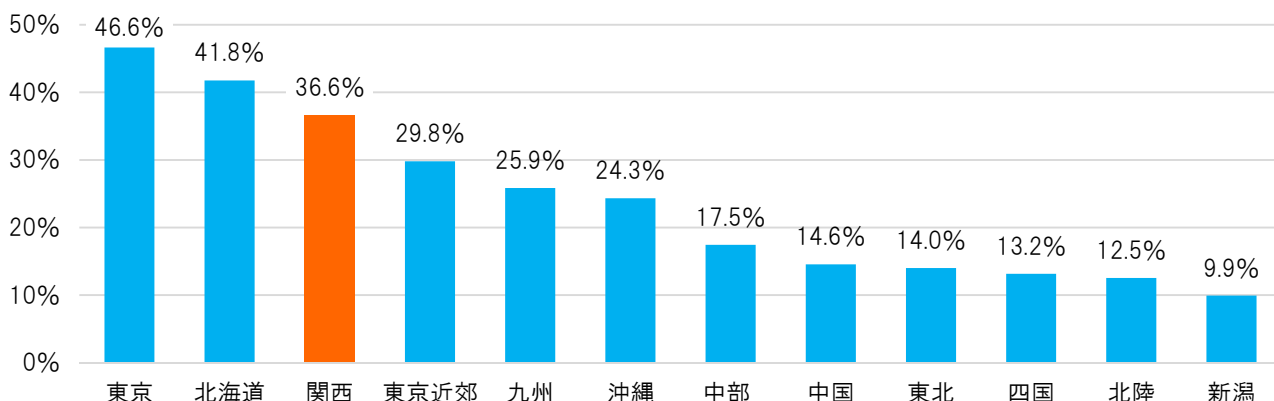
(図表1-2)回答者全体における新型コロナ終息後にまた海外旅行をしたいか



(図表1-3)回答者全体における新型コロナ終息後に観光旅行したい国・地域(複数回答。上位10項目)



(図表1-4)訪日希望者全体における次に訪問したい地域(複数回答可)



新型コロナ流行終息後、海外観光旅行をしたい理由

- 海外旅行をしたい理由については、「海外で体験したいことがある」、「海外旅行が好きだから」、「リラックスや癒しを得たいから」といった回答が上位を占める一方、「外出自粛などにより溜まったストレスを発散したいから」との回答が30%程度あった他、新型コロナに打ち勝ったお祝いや外出自粛による貯金の増加といった回答も一定割合あり、新型コロナ終息後の需要の反動増の可能性もうかがえる。
- また、地域によってばらつきはあるものの、「行きたい国・地域があるから」との回答も50%程度であり、その国に行きたいと思わせる、旅マエ情報の発信は引き続き重要と言えよう。

(図表2) 関西訪問希望者における新型コロナウィルス流行の終息後、海外観光旅行をしたいと思う理由(複数回答)

	関西訪問希望者全体	うちアジア全体						うち欧米豪全体	
		中国	台湾	香港	韓国	東南アジア			
回答数(人)	895	774	118	142	124	33	357	121	
回答割合(%)	海外で体験したいことがあるから(観光、食事、買い物、アクティビティ、文化など)	60.6	60.3	58.5	71.8	47.6	54.5	61.3	62.0
	海外旅行が好きだから	59.3	58.3	48.3	66.9	66.9	51.5	55.7	66.1
	リラックスや癒しを得たいから	58.3	62.1	47.5	68.3	65.3	60.6	63.6	33.9
	行きたい国・地域があるから	57.1	56.1	42.4	74.6	51.6	51.5	55.2	63.6
	外出自粛などにより溜まったストレス発散をしたいから	34.9	36.3	36.4	28.9	33.9	45.5	39.2	25.6
	親戚や知人に会いたいから	16.1	15.1	7.6	16.2	16.1	18.2	16.5	22.3
	新型コロナウィルスに打ち勝った自分や家族へのお祝い、ごほうびにしたいから	15.9	16.0	14.4	12.0	16.1	15.2	18.2	14.9
	外出自粛などにより、予算が増えそうだから(お金が貯まったから)	10.8	10.6	8.5	9.9	9.7	18.2	11.2	12.4
	コンサートやショー、スポーツの試合などを見に行きたいから	9.6	9.0	10.2	13.4	6.5	3.0	8.4	13.2
	海外でスポーツをしたり、体を動かしたいから	8.9	7.6	15.3	7.0	7.3	3.0	5.9	17.4
	新型コロナウィルスの影響で、働き方を見直したから(自由な時間が増えたから)	8.2	8.0	9.3	4.9	6.5	6.1	9.5	9.1
	その他	0.4	0.4	0.0	0.7	0.8	0.0	0.3	0.8
	特に理由は無い/わからない	0.4	0.3	0.0	0.0	0.8	0.0	0.3	1.7

(注) 上位3項目を濃い黄色で塗りつぶしている

海外観光旅行の検討を再開するタイミング

- 海外旅行の検討再開のタイミングについては、「渡航希望先の安全宣言後(入国制限・入国後の行動制限措置の解除を伴う)」、「抗ウイルス薬の開発など、新型コロナウイルスの脅威が消滅してから」、「WHOのパンデミック終息宣言後」といった回答が上位を占めた。
- インバウンド旅行需要の本格的な回復に向けては、航空路線や海外旅行ツアーの再開といった民間ベースの取組よりも、政府・公的機関からの安全宣言や抗ウイルス薬の開発などがカギとなることが確認された。

(図表3)関西訪問希望者における次に海外観光旅行の検討を再開するタイミング(最大3項目まで選択)

	関西訪問希望者全体	うちアジア全体						うち欧米豪全体		
		中国	台湾	香港	韓国	東南アジア				
回答数(人)	945	814	122	148	134	35	375	131		
回答割合(%)	渡航希望先の安全宣言後(入国制限・入国後の行動制限措置の解除を伴う)	46.3	47.8	51.6	52.7	49.3	22.9	46.4	37.4	政府・公的機関 +抗ウイルス薬
	抗ウイルス薬の開発など、新型コロナウイルスの脅威が消滅してから	44.7	45.8	47.5	50.0	26.9	54.3	49.6	37.4	
	WHOのパンデミック終息宣言後	36.9	38.7	45.1	20.9	26.9	31.4	48.5	26.0	
	自国の出国制限措置の解除後	28.8	29.2	27.9	37.2	37.3	25.7	24.0	26.0	
回答割合(%)	航空路線が再開されてから	21.3	20.3	11.5	14.9	34.3	22.9	20.0	27.5	民間ベース
	海外旅行ツアーの再開後	14.0	15.2	14.8	23.0	22.4	22.9	9.1	6.1	
	パンデミックにより減少した自身または家族の仕事・収入が回復してから	11.7	11.8	9.8	10.8	10.4	17.1	12.8	11.5	
	メディアによって海外旅行の再開が報道されるようになってから	9.2	9.5	10.7	3.4	8.2	22.9	10.7	7.6	
	知人や周囲の人が海外旅行に行き始めたタイミング	7.0	7.4	12.3	7.4	9.7	5.7	5.1	4.6	
	流行が終息しても、当面の間(2~3年)は海外旅行は難しいと思う	6.6	6.4	2.5	8.1	2.2	2.9	8.8	7.6	
	SNSで海外旅行に関する投稿を見るようになってから	6.3	6.6	9.8	4.1	4.5	8.6	7.2	4.6	
	クルーズ船の就航が再開されてから	2.3	2.3	4.1	1.4	1.5	2.9	2.4	2.3	
回答割合(%)	すでに検討を始めている	1.9	1.4	0.0	1.4	2.2	2.9	1.3	5.3	
	わからない	1.9	1.4	0.0	2.0	2.2	2.9	1.1	5.3	
	現在の状況からは海外旅行の検討再開は考えられない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

(注) 上位3項目を濃い黄色で塗りつぶしている

新型コロナ流行終息後、関西に訪日観光旅行する場合に期待したいこと

- 関西への旅行に期待したいことについては、日本食や文化体験といった選択肢を抑えて、「衛生面における配慮、清潔さ、消毒などのウイルス対策全般の継続」との回答が最多(35.9%)になった他、「混雑を回避するための事前予約や入場制限などの措置(22.0%)」、「コロナウイルスに関する英語・多言語での情報公開(12.3%)」など新型コロナ予防関連の回答も一定割合確認された。
- 従来の関西観光の主要な目的であった日本食や文化体験への期待が引き続き確認される一方で、コロナ禍により旅行者の衛生面への関心が高まっていることがうかがえる。

(図表4) 関西訪問希望者における新型コロナウィルスの流行が終息した後、もしも観光目的で日本の関西に旅行する場合にあなたが期待したいこと(最大3項目まで選択)

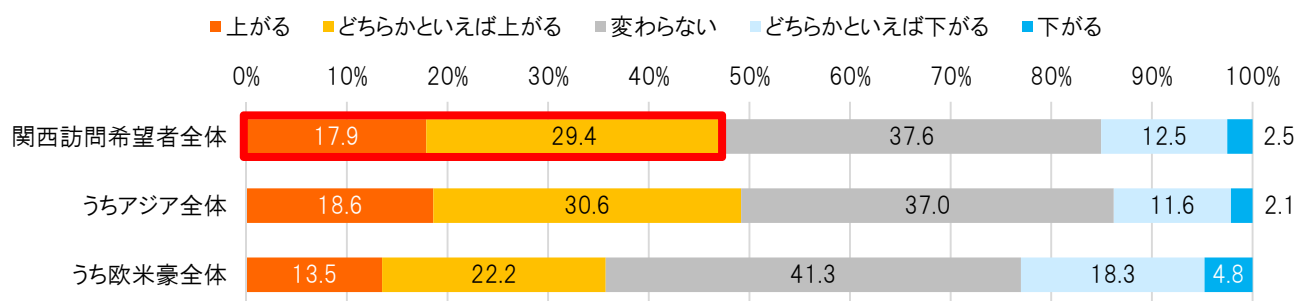
	関西訪問希望者全体	うちアジア全体					うち欧米豪全体	
		中国	台湾	香港	韓国	東南アジア		
回答数(人)	945	814	122	148	134	35	375	131
衛生面における配慮、清潔さ、消毒などのウイルス対策全般の継続	35.9	35.7	38.5	35.1	30.6	22.9	38.1	36.6
リーズナブルな日本食レストランの充実	30.2	31.9	33.6	38.5	51.5	31.4	21.9	19.1
文化体験アクティビティの種類や質の充実、ブラッシュアップ	26.8	27.6	34.4	38.5	21.6	28.6	23.2	21.4
リーズナブルな宿泊施設の拡充	25.8	26.3	12.3	34.5	32.8	5.7	27.2	22.9
観光地やレストラン、宿泊施設などでの英語・多言語による案内、表示のブラッシュアップ	22.8	23.7	23.8	17.6	20.9	22.9	27.2	16.8
混雑を回避するための事前予約や入場制限などの措置	22.0	22.1	27.9	16.9	10.4	25.7	26.1	21.4
観光地や観光施設へのアクセス改善	21.7	21.9	20.5	25.7	24.6	20.0	20.0	20.6
低価格	21.5	21.0	0.8	8.1	17.9	31.4	32.8	24.4
自然体験アクティビティ(スキーやサイクリング、フィッシング等)の種類や質の充実、ブラッシュアップ	18.2	18.6	28.7	23.0	13.4	20.0	15.2	16.0
高価格でも、価格に見合った日本食レストランの充実	13.2	12.0	12.3	8.8	14.9	14.3	12.0	20.6
コロナウイルスに関する英語・多言語での情報公開	12.3	12.8	9.8	6.8	6.0	11.4	18.7	9.2
通信環境の改善(インターネット、Wi-Fi等)	9.3	8.8	12.3	4.7	6.0	17.1	9.6	12.2
高価格でも、価格に見合ったサービスや施設の充実	9.2	8.7	8.2	6.1	6.7	17.1	9.9	12.2
高級宿泊施設の拡充	7.6	7.9	9.0	10.1	10.4	5.7	5.9	6.1
その他	0.1	0.1	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0

(注) 上位3項目を濃い黄色で塗りつぶしている

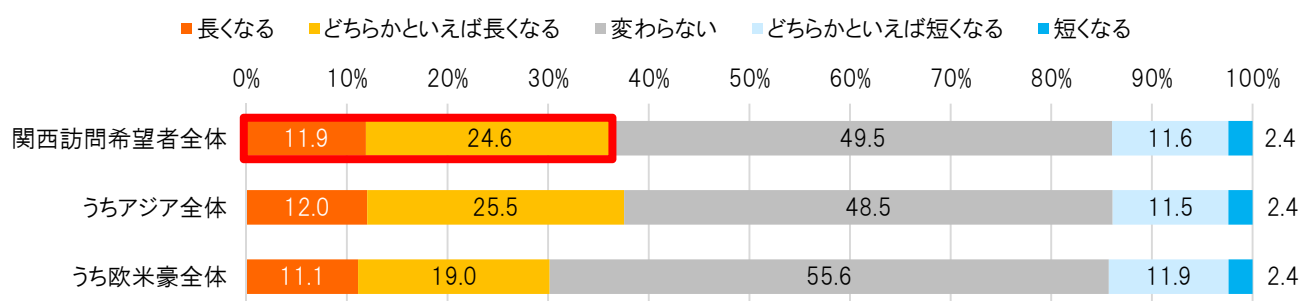
新型コロナ流行終息後、海外観光旅行の予算・滞在日数の変化、希望する旅行形態

- 新型コロナ終息後、海外観光旅行の予算については「上がる」、「どちらかといえば上がる」と回答した割合の合計は47.3%となり(図表5-1)、また、滞在日数については「長くなる」、「どちらかといえば長くなる」と回答した割合の合計は36.5%となるなど、予算の増加及び滞在日数長期化の可能性が確認された。
- また、旅行形態については「航空券と宿泊施設のみがセットになったパック旅行」の割合が増える一方で、「ガイド付きテラーメイドツアー」の割合が減少しており、ガイドや他の旅行者と行動を共にしない旅行形態が志向される結果になった(図表5-3)。
- コロナ禍を経て海外旅行自体に特別感が生まれた結果、旅行にかかる予算や日数に変化が生じたと推測される。また、衛生面への関心の高まりから、他人との接触を控えた旅行形態への需要増が見込まれる。

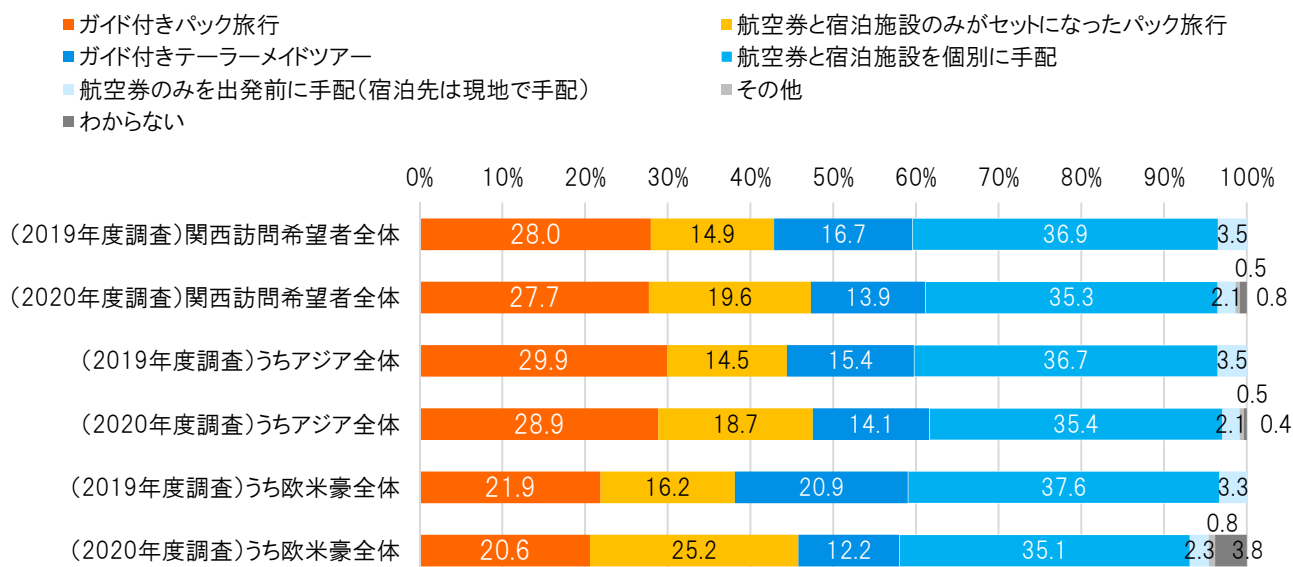
(図表5-1) 関西訪問希望者における海外観光旅行の予算はどのように変化するか



(図表5-2) 関西訪問希望者における海外観光旅行の滞在日数はどのように変化するか



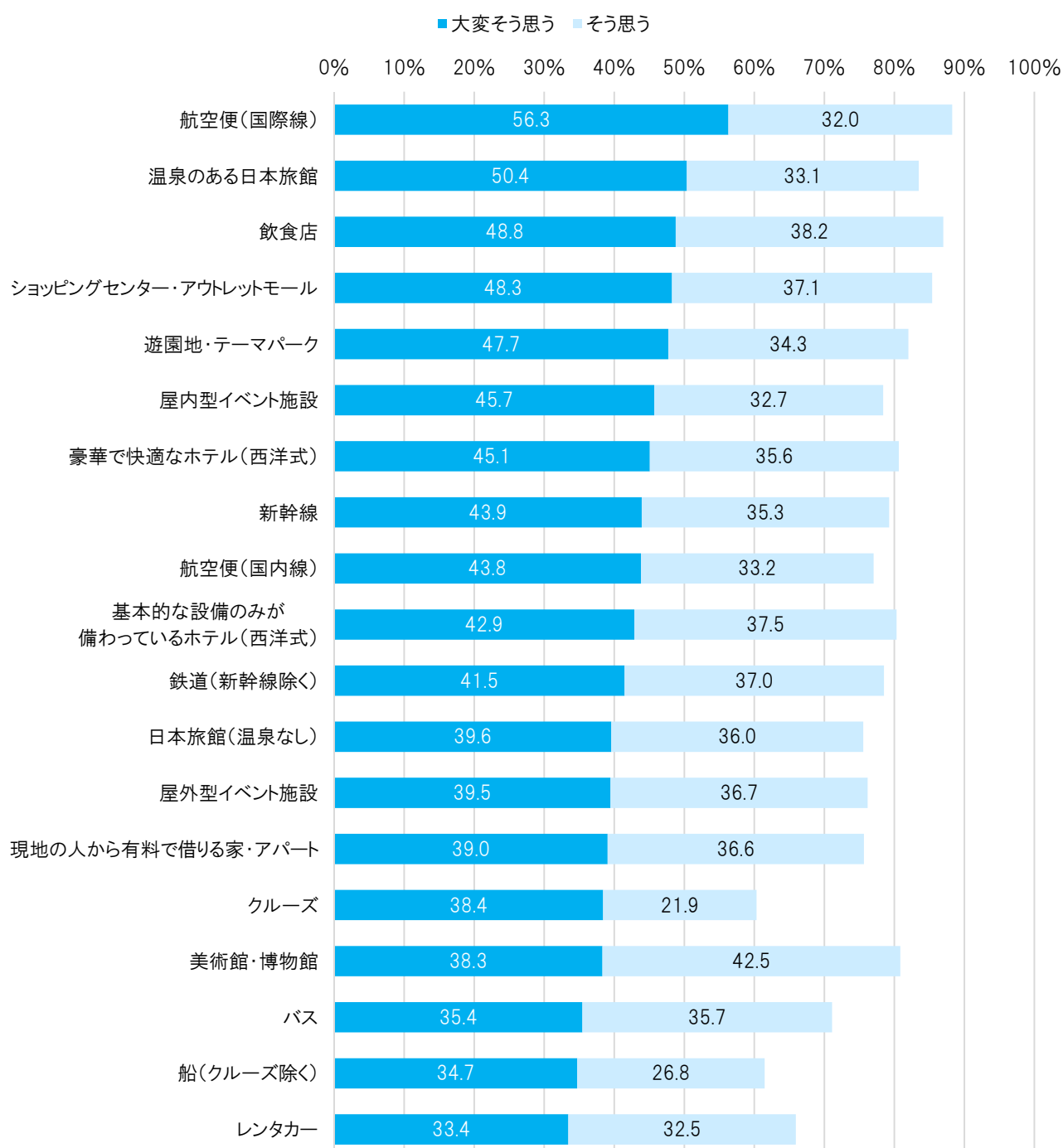
(図表5-3) 関西訪問希望者におけるコロナ終息後、観光目的に訪日するとして、希望する旅行形態



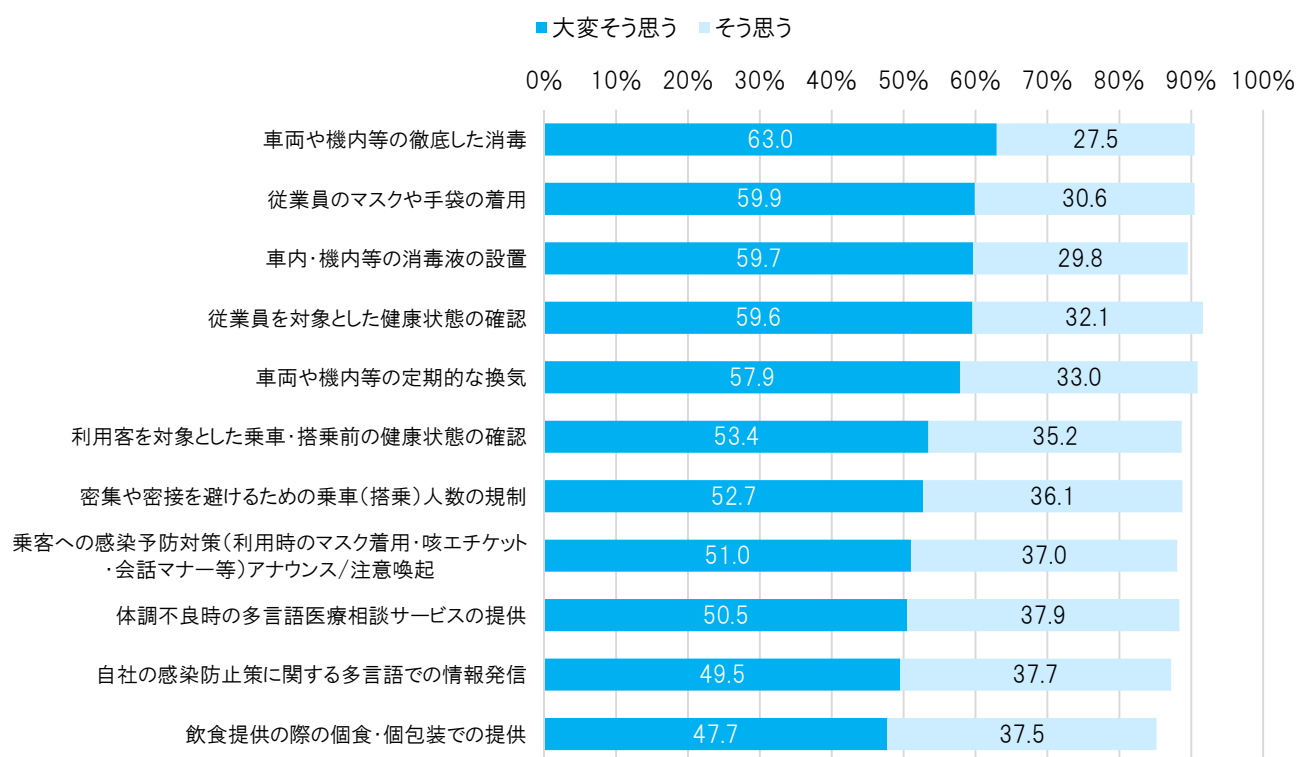
訪日観光旅行の際に、新型コロナウイルス対策が必要だと感じる乗り物・場所、またその具体策

- 訪日観光の際に新型コロナウイルス対策が必要だと感じる乗り物・場所については、「(対策が必要だと感じる)大変そう思う」、「そう思う」と回答した割合の合計が、全ての項目で6割を越えた(図表6-1)。また、事業者がとるべき具体策としては、交通・宿泊ともに全ての項目で「(対策が必要だと感じる)大変そう思う」「そう思う」と回答した割合の合計が7割を超えた(図表6-2、6-3)。新型コロナについては、広く様々な対策が求められており、衛生面に関する意識の高さが裏付けられる結果となった。

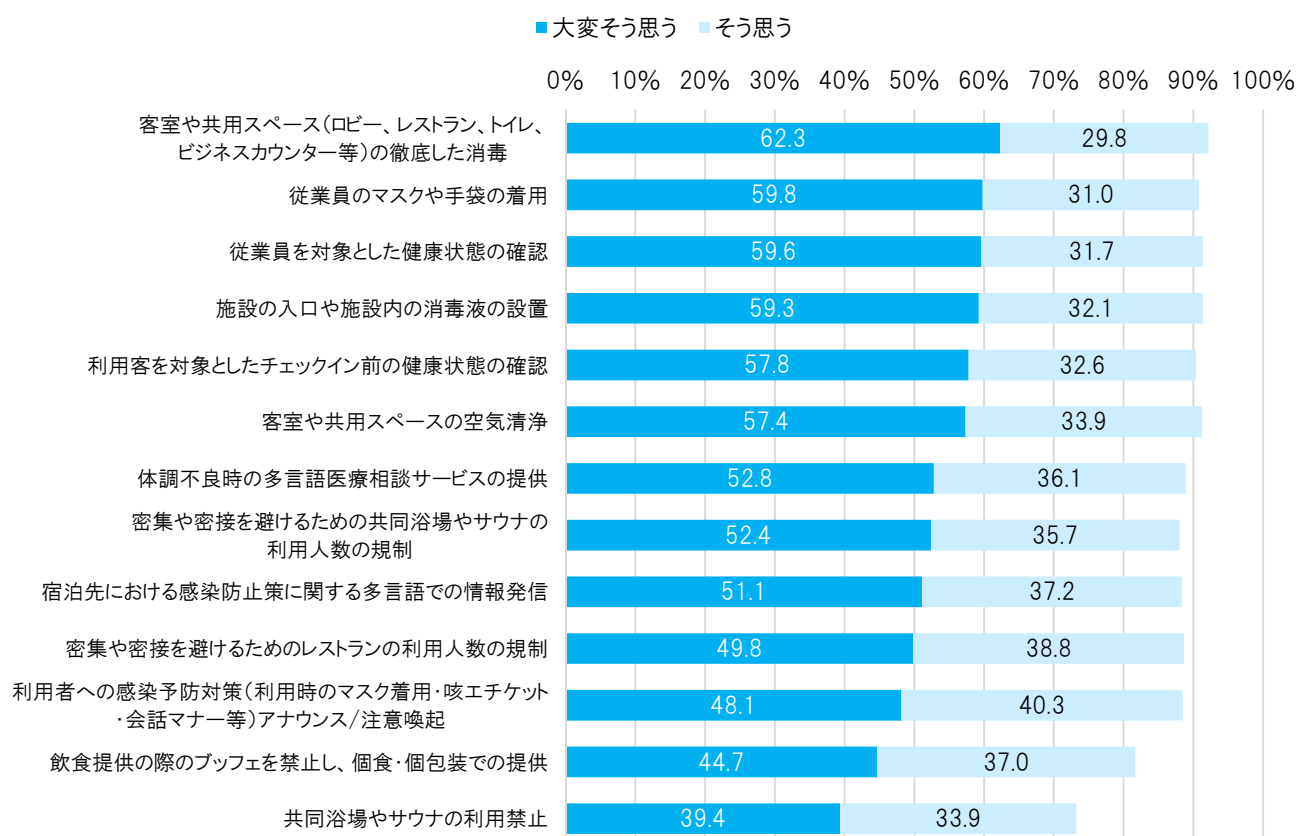
(図表6-1)関西訪問希望者における観光目的で訪日旅行をする場合、新型コロナウイルス対策が必要だと感じる乗り物・場所(項目毎に5段階(「大変そう思う」「そう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」「全くそう思わない」)の中から回答。「大変そう思う」「そう思う」と回答した割合。)



(図表6-2)関西訪問希望者におけるあなたがもし観光目的で訪日旅行をする場合、安心して交通機関を利用するために交通事業者がとるべき新型コロナウイルス対策（項目毎に5段階の中から1つ回答。「大変そう思う」「そう思う」と回答した割合）



(図表6-3)関西訪問希望者におけるあなたがもし観光目的で訪日旅行をする場合、安心して宿泊施設を利用するために宿泊事業者がとるべき新型コロナウイルス対策（項目毎に5段階の中から1つ回答。「大変そう思う」「そう思う」と回答した割合）





©Development Bank of Japan Inc.2020

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引等を勧誘するものではありません。本資料は当行が信頼に足ると判断した情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しましては、ご自身のご判断でなされますようお願い致します。本資料は著作物であり、著作権法に基づき保護されています。本資料の全文または一部を転載・複製する際は、著作権者の許諾が必要ですので、当行までご連絡下さい。著作権法の定めに従い引用・転載・複製する際には、必ず『出所：日本政策投資銀行』と明記して下さい。

(お問い合わせ先)

株式会社日本政策投資銀行 関西支店 企画調査課

〒541-0042

大阪府中央区今橋4-1-1 淀屋橋三井ビルディング13F

Tel:06-4706-6455

E-mail:ksinfo@dbj.jp

HP: <https://www.dbj.jp/co/info/branchnews/kansai/index.html>